資料11

令和7年4月25日

調布市教育委員会指導室

令和6年度　スクールカウンセラーの利用状況報告について

（１）利用者延人数

利用者	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	保護者	教員	その他	合　計	前年同期
小学校	689	889	1,261	1,758	1,851	730	2,692	6,958	164	16,992	15,489
中学校	595	612	538				876	2,325	72	5,018	5,068
										22,010	20,557

（２）内容別延件数

利用者	小学校						中学校					
人数	児　童	保護者	教員	その他	合 計	前年同期	生徒	保護者	教員	その他	合 計	前年同期
相談内容	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数	回数
①不登校	865	897	1,306	17	3,085	2,658	720	500	937	36	2,193	2,025
②いじめ	40	22	56	1	119	106	5	3	11	0	19	28
③友人問題	908	109	559	1	1,577	1,571	122	14	92	0	228	227
④問題行動等　暴力行為	24	5	50	0	79	50	5	4	9	0	18	27
④問題行動等　非行・不良行為	27	3	33	1	64	103	7	9	38	0	54	44
⑤情緒不安定	921	267	986	17	2,191	1,902	146	43	303	3	495	685
⑥性格・行動	1,160	460	1,496	10	3,126	3,283	114	56	220	0	390	429
⑦生活習慣	54	26	65	0	145	139	7	15	15	0	37	45
⑧身体・健康	74	33	74	0	181	143	23	9	29	0	61	114
⑨学習・進学	203	158	367	4	732	615	118	77	165	1	361	316
⑩家庭・家族	426	96	407	23	952	870	117	35	216	10	378	269
⑪虐待	42	14	53	6	115	109	4	1	4	1	10	15
⑫対教師	134	20	88	0	242	227	11	3	13	0	27	44
⑬部活等	1	0	1	0	2	4	6	3	16	0	25	18
⑭自己理解	53	16	31	0	100	58	32	0	7	0	39	84
⑮子育て	19	161	66	1	247	164	0	36	5	0	41	51
⑯発達障害	548	324	844	9	1,725	1,219	46	59	131	10	246	285
⑰カウンセリングの方法	9	16	86	2	113	76	4	3	62	4	73	52
⑱学外との連携	11	9	33	46	99	91	0	1	15	6	22	12
⑲話相手	1,250	4	26	1	1,281	1,267	248	1	6	0	255	90
⑳貧困の問題	65	0	3	0	68	49	0	0	0	0	0	3
㉑ヤングケアラー	6	0	6	0	12	3	2	0	0	0	2	3
㉒性的マイノリティ	2	0	2	0	4		0	0	5	0	5	
㉓自殺企画	0	0	0	0	0		0	0	0	0	0	
㉔宗教に起因する悩み	0	0	1	0	1		0	0	0	0	0	
㉕その他	336	52	319	25	732	782	8	4	26	1	39	202
合　　計	7,178	2,692	6,958	164	16,992	15,489	1,745	876	2,325	72	5,018	5,068

【主な特徴】

○利用者延人数は，令和５年度と比べて，小学校では約1500人増加，中学校では50人の減となっている。

○内容別には，小学校では⑥性格・行動が最も多く，次に①不登校，⑤情緒不安定，⑯発達障害の順に多く，令和５年度と比して，発達障害の相談が増加している。

　中学校では①不登校が最も多く，次に⑤情緒不安定，⑥性格・行動，⑩家庭・家族，⑨学習・進学の順に多く，令和５年度と比して，家庭・家族の相談が増加している。